



あかね

令和2年2月発行

独立行政法人国立病院機構
東近江総合医療センター
広報委員会

7月から当院は敷地内全面禁煙になりました。

かぜ症候群について

小児科 田中 克典

はじめに

かぜ症候群とは、様々なウイルス等によって起こる疾患群で、鼻汁・鼻閉などを主症状とする良性の自然軽快する症候群といわれています。本症で生じる臨床症状の多くはウイルス等の直接障害ではなく、免疫反応によるものと考えられています。発熱、鼻汁、咳嗽、嘔吐、下痢などの症状は、体を守るための防衛反応と見ることができます。本症の治療は、十分な休息と対症療法が基本となります。



かぜ診療とは・・・

“かぜ”診療の大きな問題点の1つは、「風邪をひいた」といって受診される方の中に思わぬ重症疾患が隠れていることです。「風邪は万病の元」と言いますが、“かぜ”をこじらせて合併症を起こすという意味合いのほか、様々な重症疾患の初期症状がかぜ症候群と紛らわしい事実も含んだ言葉であると思います。“かぜ”なのか、実はかぜではない重症疾患なのか、この見極めが“かぜ”診療における医師の存在意義であると思います。

Q1 早く診てもらえば、早く治るのでしょうか？

A1 多くの方を診察していて「困ったな」と思うことがあります。発熱してすぐ受診された方やひどくなる前に早めに受診された方です。なぜ困るのかというと、急を要するかどうかの判断はできても、それ以上は難しい場合が多いからです。医師の間では、「後から診るほど名医」という言葉は有名です。症状が出揃っていない初期では単なる“かぜ”のように思えても、後から診た医師は比較的容易に肺炎だと診断できるなどです。

Q2 “かぜ”の時、抗生物質は飲ませない方がいいというのは本当ですか？

A2 抗生物質は細菌をやっつける薬です。病原菌だけではなく、体に住んでいる善い細菌までやっつけてしまいます。「とりあえず抗生物質」というのは古い考え方で、最近では少数派です。“かぜ”の原因の80～90%はウイルスが原因であり、ウイルスに抗生物質は効きません。このことから「とりあえず抗生物質」というのは好ましくありません。

Q3 “かぜ”の時、お風呂に入っていって本当ですか？

A3 お風呂に入っても“かぜ”が悪化することはありませんし、お風呂に入って汗をかいても早く治ることはありません。お風呂に入りたいかどうかで決めていいと思います。



小児科からのお願い

急いで受診するか迷ったときは、目安は3か月齢以上で、機嫌がよければ、発熱しても急ぐ必要はありません。心配なことがあれば小児科外来にご相談ください。